

国立大学法人 北海道大学大学院水産科学研究院  
「海のナビゲーター」・「海のプロデューサー」人材養成プログラム主催

## 講演会「福島 第1原子力発電所沖の海と生物の現状」

日 時：平成27年 8月8日（土）10：00～12：30

場 所：函館市国際水産・海洋総合研究センター 大会議室

対 象：一般市民

受講料：無料（事前申込不要）

講 師：石丸 隆 氏（東京海洋大学 海洋システム観測研究センター 特任教授）

青山 道夫 氏（福島大学 環境放射能研究所 教授）

コンビーナー：

平譯 享（北海道大学 大学院水産科学研究院 准教授）

今井 圭理（北海道大学 水産学部附属練習船おしよろ丸 助教）

スケジュール

8月8日（土）

10:00-10:05 大学院水産科学研究院長 安井 肇 挨拶

10:05-10:15 おしよろ丸による震災対応航海について（今井圭理）

10:15-10:20 講師ご紹介（平譯 享）

10:20-11:20 「福島沖海洋生態系の放射能汚染」石丸 隆 特任教授

11:20-11:30 ～ 休憩 ～

11:30-12:30 「東電福島第一原発事故による福島県沿岸から太平洋全域での放射能汚染」青山道夫 教授

内 容：

2011年の東日本大震災によって引き起こされた東京電力福島第1原子力発電所の事故は、大量の人工放射性物質を大気経由で日本の国土と西部北太平洋および直接漏洩として福島第一原発周辺海域に放出し、海洋生態系の放射能汚染が懸念されている。講演者のお二人は、事故直後より周辺海域における人工放射性物質の動態と海洋生態系への影響を観測研究し、その状況を世界に発信している。

事故から4年。観測研究は現在も継続しており、今夏は北大水産学部のおしよろ丸もこの観測研究に参加する。本講演会では、前日まで実施されるおしよろ丸による観測の様子を紹介を含め、福島第1原発沖の海の状況をお話いただく。

（講師プロフィールは、次頁へ掲載）

\*\*\* 講師プロフィール \*\*\*

	講師名	所属	プロフィール
1	石丸 隆	国立大学法人 東京海洋大学 海洋システム観測研 究センター・特任教授	東大海洋研・助手、東京海洋（水産）大・助教授、 教授としてプランクトンの研究を行って来た。福島 第一原発事故後に海洋生態系の放射能汚染に関す る調査に着手し、退職後も研究活動を続けている。
2	青山 道夫	国立大学法人 福島大学 環境放射能研究所・ 教授	気象研究所地球化学研究部研究官、長崎海洋気象台 海洋課主任技術専門官、海洋科学技術センター（現 海洋開発研究機構）海洋研究部副主幹 1995年4月～2014年1月 気象研究所主任研究官 2014年2月～現在 福島大学環境放射能研究所 教授 最終学歴（卒業年次、大学名） 1977年3月 気象大学卒業 1999年3月 金沢大学大学院自然科学研究科修了 現在のテーマ 海水中栄養塩の地球化学研究 海洋環境における人工放射性核種の長期挙動研究 信条 諦めない、ないものは自分で作る、研究成果 は書いて残す 趣味 水泳、ピアノ練習、研究

※ 悪天候の場合は、会場を「北海道大学水産学部」に変更することが  
あります。

詳細はホームページで確認するか、前日17時までに電話でお問合せ  
ください。

ホームページURL : <http://jinzai.fish.hokudai.ac.jp/>

お問い合わせ先 : 北海道大学函館キャンパス事務部 研究協力担当  
電話 40-5504